

コロナ禍だからこそ「人間ドック」

がんは1cmの大きさになってようやく発見することができますが、この大きさになるには20年程度の年月がかかります。しかし、1cmが2cmになるのはわずか1~2年。この時期には症状が出ることはまれですから、がんを早期に見つけるためには、定期的な検査が欠かせません。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大で、がん検診が大幅に減っています。がん検診の減少は、コロナを恐れるあまりの検診の「自粛」だと思われます。検診や受診の自粛は、進行がんを増やし、長期的には死亡数の増加につながる大きな問題です。当センターではマスク着用、手指消毒、3密の回避など、徹底した感染対策を行った上で、人間ドックや検診業務を行っています。体調が良くても定期的に検査をしなければ早期がんを見つけることはできません。検診や人間ドックは不要・不急の検査ではありません。定期的ながん検診を受けましょう。



健康管理センター長
がん相談支援センター長

足立 秀治

今更ですが 「メタボ」って何？

「メタボ」は日常的によく使われるようになりましたが、正式には「メタボリック症候群」といい、内臓脂肪型肥満に高血圧や糖尿病、脂質異常症(高脂血症)など複数の病気や異常が重なっている状態を表します。

放っておくと動脈硬化という血管の異常が進んで、メタボでない人に比べて約3倍も心筋梗塞や脳梗塞などの重篤な病気を起こしやすくなります。

必須項目

腹囲
男性: 85cm
女性: 90cm
以上



2項目以上

- ・血圧
130/85mmHg以上
- ・空腹時血糖
110mg/dl以上
- ・中性脂肪
150mg/dl以上
かつ/または
- ・HDLコレステロール
40mg/dl未満

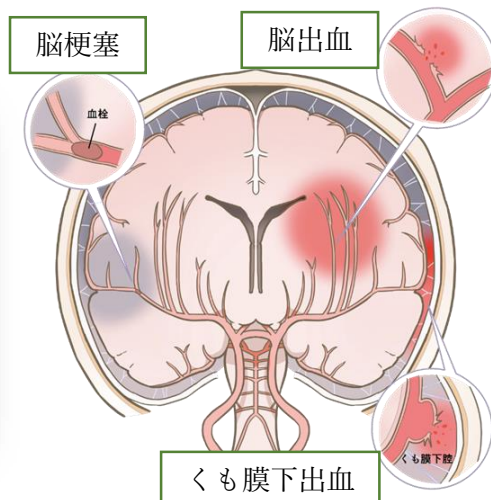
脳ドックコースがスタートしました！

2021年6月より脳ドックコースがスタートしました。

脳の病気は、糖尿病や高脂血症、高血圧などの生活習慣病を要因として発症することが多く、仕事やライフスタイルにも大きく影響し、最悪は死に至ることもあります。早期発見や早期治療が重要ですので、脳血管疾患の予防に脳ドックをぜひ活用していただけたらと思います。このコースでは、認知機能検査も行います。また、脳神経内科の専門の医師が診察し、もしも異常が見つければ速やかに治療におつなぎします。



脳神経内科部長
脳卒中・神経センター副センター長
濱口 浩敏



コロナ禍でも
検診・健診を
受けましょう！

体からのSOSを
いち早くキャッチ！！



当センターのすべての人間ドックコースで、腹囲の測定を行い、メタボリック症候群に該当するかどうかを判定するための血圧、血液検査(血糖、中性脂肪、HDLコレステロールなど)測定を行っています。さらに、服薬歴や喫煙歴、食事や運動をはじめとする生活習慣に関する標準的な質問票による問診を実施し診察をしています。健康に自信がある方も、健康生活の維持管理に、ぜひ当センターの人間ドックを活用していただけたらと思います。